



岡山市水道事業審議会

第54回資料

平成 28 年 5 月 23 日(月) 13 時 30 分～

ピュアリティまきび 2 階「孔雀」

岡山市水道局

目 次

岡山市水道事業総合基本計画アクションプラン後期編 平成28年度取組予定について・・・・・・・・・・	1
岡山市水道事業新総合基本計画の素案について・・・・・・・・・・	11

アクションプラン後期編

平成28年度取組予定

平成28年度の事業費等

1 事業費

(単位：百万円)

項目	期間中の 総事業費	H28年度 予算額	累計額 (H24～28)	執行率 (%)
1 安全でおいしい水の供給	925	54	1,805	195.1
2 信頼性の高い水道システムの確立	29,802	6,232	29,011	97.3
3 災害に強い水道づくり	1,451	301	1,465	101.0
4 お客様の満足に応える水道づくり	2,216	2,112	4,619	208.4
5 行財政改革の推進等による経営基盤強化	41	5	28	68.3
6 資源循環型の水道システムの構築	478	77	674	141.0
合計	34,913	8,781	37,602	107.7

※ 累計額及び執行率は、H24年度、H25年度及びH26年度決算額、H27年度及びH28年度予算額の合計で算出しています。

2 「5 行財政改革の推進等による経営基盤強化」による効果額

項目	H28年度目標	備考
経費節減額	▲704百万円	H23年度との単年度比較
事務事業、組織機構の見直し	▲370百万円	
支払利息	▲218百万円	
職員数の目標	345(▲15)人	

企業債残高	255(▲53)億円	
-------	------------	--

平成28年度の主要施策の取組予定

☆ 水道施設・管路の計画的更新及び耐震化

信頼性の高い水道システムの確立

災害に強い水道づくり

◎ 水道施設の更新及び耐震化：2,143百万円

需要に応じた水の安定供給を図るとともに、事故等非常時における断水・濁水を低減させるため、老朽化した水道施設・設備を計画的に更新し、水道システムの信頼性を更に向上させます。

併せて、地震等災害の発生時においても水が確保できるよう、水道施設の耐震化を図ります。

- 引き続き三野浄水場の薬品沈でん池を更新します(～平成29年度)
- 富山配水池を築造します
- その他、水道施設・設備を13か所更新します



施工中の三野浄水場薬品沈でん池工事



配水池の工事（富山配水池）の様子

◎ 水道管の更新及び耐震化：4,230百万円

赤水の発生や漏水及び破損事故を未然に防止し、安全で安定的な給水を確保するため、老朽化した水道管を計画的に更新するとともに、被害を極小化させ早期の給水復旧を図るため、水道管路の耐震化を推進します。



水道管の更新工事

- 老朽管を34km更新します
- 水道管の耐震化率を1.4ポイント向上させます 《累計耐震化率 15.0%》

☆ サービス拠点の整備

お客様の満足に添える水道づくり

災害に強い水道づくり

◎ 本局新庁舎の建設：1,685百万円

現在、建設中の新庁舎は、信頼性の高い、持続可能な水道サービスの拠点となります。また、災害時には拠点施設としての機能を発揮します。

- 引き続き本局庁舎の建設工事を行います(～平成29年度)



建設中の本局新庁舎

《その他主な取組予定》

◎ 水道水源の保全：7百万円

旭川水源地域の鏡野町・新庄村で水源林の保育・整備を行い、清浄・豊富な水源の維持に努めます

- 間伐を5ha、枝打を4ha実施します

安全でおいしい水の供給



市民ボランティアによる除伐作業

◎ 水質検査機器の更新：43百万円



水質検査の様子

安全でおいしい水の供給

安全でおいしい水の供給を求めるお客様のニーズに応えるべく、正確かつ精度の高い検査が行えるよう水質検査機器を整備し、水道水の水質検査結果の信頼性を確保します。

◎ 応急復旧・給水体制の整備：2百万円

大規模災害時等の非常時においても迅速に給水を確保するため、他の事業者等と連携した防災訓練を実施するほか、組立式給水タンク、応急給水スタンド等の必要備品を整備し、応急復旧・給水体制を強化します。

- 防災訓練を年3回実施します
- 組立式給水タンク2基を整備します
- 応急給水スタンド4基を追加整備します

災害に強い水道づくり



防災訓練の様子

◎ **おokayまの水のおいしさ、
大切さを伝えるPR活動:11百万円**

お客様の満足に應える水道づくり

水道の重要性や水の大切さについて理解を深めていただくため、引き続き登録有形文化財に指定されている水道記念館を活用し、各種イベントや啓発活動を行います。

また、水道水のおいしさや安全性を知っていただくため、岡山駅に設置したウォーターステーションでの飲用水の提供、広報紙・局ホームページでの広報など、各種PR活動を行います。

➤ **イベント来場者数3,500人、ホームページアクセス数80,000件を目指します**



イベントの様子①



イベントの様子②

◎ **行財政改革の推進**

行財政改革の推進等による経営基盤強化

よりスリムで効率的な事業運営を目指し、組織及び事務事業の見直しを行います。併せて、将来の財政負担の削減及び財政基盤の強化を図るため、引き続き企業債残高及び支払利息の削減を行います。

- **事務事業等の見直しにより370百万円の経費を削減します**
- **企業債支払利息を218百万円削減します**
- **企業債残高を53億円削減します。(企業債残高255億円)**

※ 上記目標数値は、計画策定時における比較

◎ **漏水防止事業の推進:73百万円**

資源循環型の水道システムの構築

水資源を有効に利用するため、引き続き予防対策に重点を置いた漏水防止事業を実施します。

- **有収率を0.1ポイント向上させます**

アクションプラン後期編 平成26年度取組実績一覧

アクションプラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価
					目標値	実績値	
安全でおいしい水の供給	水道水源の保全	水源林事業の継続実施	水源林事業 (鏡野町、新庄村)	間伐実施面積	5ha	9ha	◎
				枝打実施面積	4ha	4ha	○
		水源水質の保全	河川水質状況の把握	ダム湖状況の把握回数 5回/週	5回/週	5回/週	○
				水源の水質検査実施回数 2回/年	2回/年	2回/年	○
	浄水処理のレベルアップ	カビ臭対策の実施	粒状活性炭の調査研究	研究結果の報告	研究結果の報告	研究結果の報告	○
			旭東浄水場 活性炭注入設備工事	かび臭からみたおいしい水達成率 70%	65%	65%	○
		残留塩素の低減化	水質監視局の設置	設置箇所数 22箇所	16箇所	12箇所	×
				残塩WEBシステムの確立	検査測定箇所数	427箇所	521箇所
			追塩設備の設置	設置箇所数 27箇所	26箇所	18箇所	×
				残留塩素復活装置の設置	設置箇所数 11箇所	2箇所	2箇所
浄水処理方法の調査・研究	大内浄水場 生物処理調査・研究	研究結果の報告	/	研究結果の報告済	○		
		川口浄水場 上向性ろ過処理調査・研究	研究結果の報告	/	研究結果の報告済	○	
水質検査・管理体制の充実	水質検査機器の整備(水質監視システムの拡大)	水質検査機器の更新	機器の更新率	60.4%	56.8%	×	
	水道GLPの継続認証(水道GLPの取得)	水道GLPの継続	水道GLPの更新	認証継続	認証継続	○	

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価	
					目標値	実績値		
	給水装置等の適正な維持管理に向けて	給水装置の管理に対する広報の推進	指定給水装置工事業者研修会の開催	研修参加率	95.0%	98.5%	◎	
				研修有効率	95.0%	未算出	×	
			パンフレット等による周知広報	給水装置管理責任認知率	90.0%	45.0%	×	
		貯水槽水道維持管理の啓発(貯水槽水道維持管理の啓発及び巡回点検サービスの強化)	貯水槽水道維持管理の啓発	貯水槽管理責任認知率	70.0%	72.5%	◎	
		直結給水システムの拡大	直結給水の推進	新規直結給水届出件数	59件	99件	◎	
			直結給水方式への切替え促進	切替件数	16件	21件	◎	
	鉛製給水管の早期解消	鉛製給水管解消事業の推進	鉛製給水管の解消(第2期解消計画)	鉛製給水管解消率100%	94.7%	90.6%	×	
	信頼性の高い水道システムの確立	水需要に応じた安定施設整備	必要水源の確保と水源の見直し	灘崎地区給水整備(高区エリア)	検討結果を出す		検討済	○
			運用・管理機能の強化	効率的な水運用	旭東浄水場配水制御システム更新	システムの更新状況		更新済
		半田山配水池調整弁更新			影響世帯数	165,000世帯	165,000世帯	○
水源の見直しによる施設の効率的再編		御津地区水源調査	御津地区水源調査	揚水可能量		調査済	○	
			御津地区基幹施設整備・矢原第2配水池	更新状況	完了	完了	○	
施設のレベルアップ		旭東浄水場集中監視制御更新	旭東浄水場集中監視制御更新	更新状況	着手		×	
			三野浄水場薬品沈澱池施設更新及び着水井築造	三野浄水場耐震施設数	4箇所	4箇所	○	
		瀬戸地区基幹施設整備大内-マンガン処理施設	大内浄水場対応作業時間	180日・人	180日・人	○		
		建部地区基幹施設整備川口-表流処理施設	有人作業時間	482日・人	482日・人	○		

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価	
					目標値	実績値		
		老朽管の計画的更新	老朽管の更新	更新延長 240km	169km	209km	◎	
			基幹配水管(口径400mm以上)の更新	更新延長 15km	14km	9km	×	
			配水支管(口径350mm以下)の更新	更新延長 225km	155km	200km	◎	
			石綿管の更新	石綿管解消率 100%	100.0%	96.8%	×	
災害に強い水道づくり	リスク管理体制の充実(災害被害の未然防止)	施設の計画的耐震化	基幹配水池の耐震化 ・操山配水池耐震補強及び2池化 ・△矢原第2配水池化	配水池耐震化率 43.4%	43.4%	57.9%	◎	
			基幹加圧ポンプ場の耐震化 ・矢坂山加圧ポンプ場	加圧ポンプ場耐震化率 30.8%		44.0%	◎	
			基幹浄水施設の耐震化 ・△三野薬品沈澱池	三野浄水場耐震施設数	4箇所	4箇所	○	
		配水管網の耐震化	配水管の耐震化	管路耐震化率(全体) 15.0%	12.2%	14.0%	◎	
			△基幹配水管(口径400mm以上)の更新及び耐震化	基幹管路耐震化率 29.4%	29.0%	40.4%	◎	
			医療施設等への配水管の耐震化	浄水場から医療施設までの水道管耐震化実施数	1箇所	2箇所	◎	
	浄水場自家発電設備の充実	非常用発電機更新計画の策定	計画の策定			策定済	○	
		三野浄水場非常用発電機整備	診断結果良判定	完了		判定済	○	
	危機管理体制の充実(災害発生時の対応)	配水池の2池化及び緊急遮断弁の設置	鳥打山配水池2池化 △操山配水池耐震補強及び2池化 △矢原第2配水池(緊急遮断弁の設置含む)	緊急時確保水量対象人口 548,700人	548,700人	549,500人	◎	
		応急復旧体制の整備	防災訓練の実施	防災訓練の実施 3回/年	年3回	年4回	◎	
		受水の効果的運用と水源間の連絡管整備	受水系水道施設の取得検討	取得可否の結論を出す			検討済	○
			周辺市町村との連絡管整備検討	取得可否の結論を出す			検討中	×
		NAS電池の検討	NAS電池の検討	実施可否の結論を出す			実施しない	○

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成

アクアプラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価
					目標値	実績値	
お客様の満足に応える水道づくり	徴収事務の効率化	検針から収納まで一貫した料金徴収業務の効率化	検針・滞納整理・清算業務等の一括委託	収納率	99.79%	99.82%	◎
	広報・広聴の充実	ITを活用する広報(お客様に伝える広報)	局ホームページのアクセス数向上	アクセス数	78,000件	76,581件	×
		お客様が参加する広報(子どもに伝える教育プログラムの実施)	水道フェア、岡山市水道の日記念行事、水の実験工作室等のイベント開催	来場者数	3,500人	3,630人	◎
			小学校等への出前講座	実施回数	7回	9回	◎
	サービス拠点の整備	お客様のお思いを大切にする広聴(インターネットモニターの拡充等による広聴の充実)	水道利用者意識調査の実施	アンケートの実施		アンケートの実施	○
			庁舎等の整備	東水道センター庁舎整備	庁舎の整備	完了	完了
行財政改革の推進等による経営基盤強化	継続的な行財政改革	事務事業の見直しと組織・機構の整備(時代のニーズにあった事務事業・組織・機構の再編整備)	事務事業、組織・機構の見直し	行財政効果額	270百万円	329百万円	◎
		職員数の適正化(定員管理の適正化)	職員数の目標	職員数	352人	348人	◎
		増収施策の推進(資産の有効活用など増収策の拡大)	未利用土地の売却、貸付	売却件数	1件	1件	○
			検針票裏面への広告掲載	広告収入額	63万円	22万円	×
	財政基盤の強化	企業債残高の削減	企業債残高の削減	企業債残高	275億円	262億円	◎
			対前年度削減額	9億円	12億円	◎	
			支払利息の削減額	160百万円	213百万円	◎	
組織の活性化と技術の継承	研修内容の充実(研修体制の充実)	実務研修・一般研修の実施	1人あたり研修時間	18.1時間	14.9時間	×	

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価
					目標値	実績値	
		国際会議、海外への職員派遣(国際会議、海外派遣等の推進)	国際協力機構(JICA)等を通じた海外派遣	年間交流参加人数	1人	0人	×
	協働による水道事業	お客様との協働活動の推進(市民等とのパートナーシップの推進)	局防災訓練への地元住民等の参加呼びかけ	実施回数	年1回	年1回	○
資源循環型の水道システムの構築	環境マネジメントシステムの改善	環境マネジメントシステムの運用(ISO14001※による環境負荷低減の継続的な取組)	独自EMSの運用	目標設定の見直し	継続運用	継続運用	○
	水の有効利用	漏水防止事業の推進・有収率の向上	漏水防止事業	有収率	89.7%	90.5%	◎
	資源リサイクルの推進	浄水発生土の有効利用	浄水発生土の有効利用	有効利用率	100.0%	100.0%	○
	CO2削減の促進	水道施設の省エネルギー化	エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく計画的事業の推進	エネルギー消費原単位	0.658kl/m ³	0.666kl/m ³	×
		小水力発電設備の設置(小水力発電の検討)	小水力発電設備の設置	設備の設置	後期編期間内で1基設置	完了	○
				集計	◎	24	34.8%
					○	29	42.0%
					×	16	23.2%
					合計	69	100.0%

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成

岡山市水道事業新総合基本計画の 素案について



平成28年5月
岡山市水道局

目次

1 新総合基本計画の骨子

- ◎計画期間・基本理念
- ◎計画の構成
- ◎主なポイント

2 新総合基本計画策定の趣旨と位置付け

3 新総合基本計画とアクションプラン

1. 新総合基本計画の骨子

◎計画期間・基本理念

計画期間:平成29年度～38年度の10カ年

基本理念:ゆるぎない安心と信頼の追求

◎計画の構成

- 1章 新総合基本計画策定の趣旨と位置付け
- 2章 水道事業の沿革と概要
- 3章 環境変化・将来予測
- 4章 岡山市水道事業の現状と課題
- 5章 計画の基本理念
- 6章 基本施策ごとの具体的方策
- 7章 投資計画と財政計画
- 8章 新総合基本計画のフォローアップ

◎主なポイント

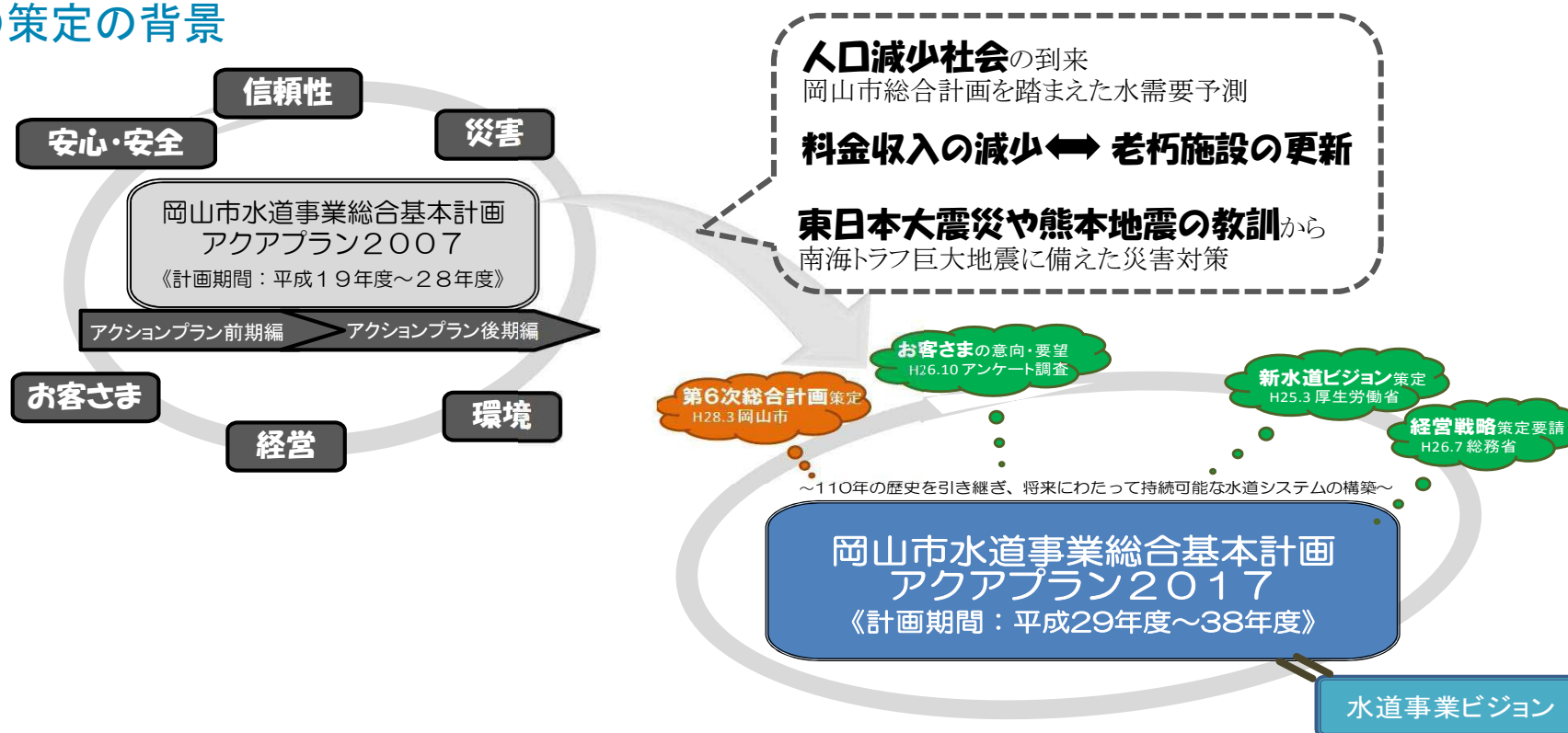
1. 人口減少を見据えた事業の推進
2. 増加する老朽化施設・管路への対応
 - ①浄水場設備の計画的更新と耐震化
 - ②管路更新率1%の確保
 - ③中口径管路(Φ100～350mm)の更新の重点化
3. 生活インフラとしての耐震化の推進
 - ①平成34年度末の基幹管路耐震適合率50%達成
(国土強靱化計画の目標に整合)
 - ②病院等重要給水施設への水道管の耐震化
4. 水需要を踏まえた経営改革
5. 投資計画と財政計画

2. 新総合基本計画策定の趣旨と位置付け

POINT

- ◆本市水道は、平成19年度に策定した「岡山市水道事業総合基本計画(アクアプラン2007)」のもと、「安全でおいしい水の供給」「災害に強い水道づくり」など6本の柱を基本施策として事業を推進
- ◆人口の減少に伴う給水収益の減少や老朽施設の更新、震災対策等危機管理への対応など、事業環境の変化に合わせた不断の見直しが必要となっており、アクアプラン2007の計画終期が平成28年度に到来することも踏まえ、新たな基本計画を策定

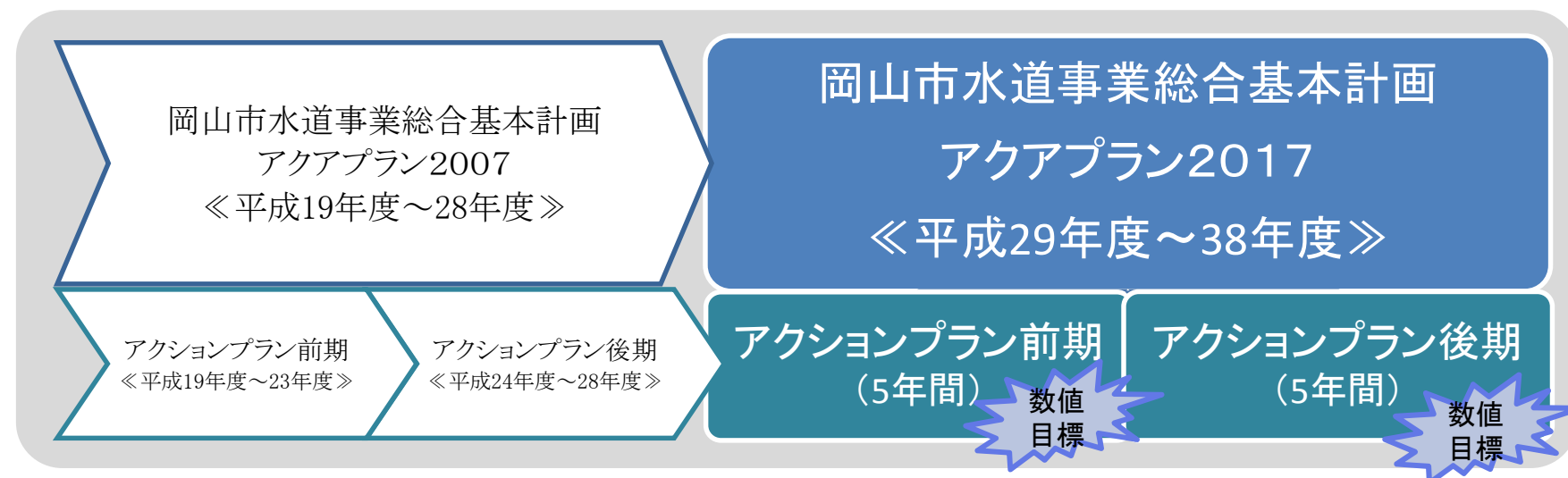
● 策定の背景



3. 新総合基本計画とアクションプラン

POINT

- ◆新総合基本計画で示したビジョンの達成に向けては、個別具体的な数値目標を伴う事業実施計画「アクションプラン」を、前期5年間と後期5年間に分けて策定。
- ◆アクションプランについては、取組予定と取組結果を公表し、透明性の高い事業を推進。



●今後のスケジュール

POINT

◆審議会やパブコメなどを通じお客さまの意見を汲み取りながら、平成28年秋までにとりまとめる

